

剣道錬士称号審査会要項

1. 受審資格

六段受有者で、受有後1年以上を経過（令和2年5月31日以前に取得）した者。

五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成23年5月31日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段位審査規則第11条2項による特例）。

※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第21条2項の資格を有する者。なお、講習会の有効期間3年は、平成30年2月以降とする。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会および大会が中止になったため、審判講習会は1回以上、審判歴は3回以上とする。

※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦委員会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。

※年齢基準は、審査当日の令和3年5月6日とする。

※全剣連社会体育指導員中級取得者は小論文提出を免除する。

2. 申込方法

受審希望者は、所定の錬士受審申請書と小論文（いずれも手書きによる自筆、パソコン不可）に講習手帳を添え、所属団体へ申込むこと。

所属団体は、受審希望者の受審申請書と小論文および講習手帳を取りまとめて、2月23日（火）までに板橋区剣道連盟に申込むこと。なお、受審申請書は必要に応じてコピーすること。

【申込先】 板橋区剣道連盟 事務局

〒174-0053 板橋区清水町21-3 平松方 TEL3962-9814

【振込口座】：三井住友銀行 志村支店 普通 7023070 板橋区剣道連盟 代表平松忠男

3. 小論文

(1)課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの剣道修業について述べなさい。

(2)字数 400字以上800字以内

(3)用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）。用紙1～4行目に表題と登録都道府県名である東京都と氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上をホチキスで止めること。（凡例参照）

(4)提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道錬士受審」を、裏に登録都道府県である東京都と自分の氏名を表記し封印すること。

4. 審査の方法

(1)小論文の審査

全剣連は小論文について、課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2)審査会による審査

全剣連は小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

5. 選考料

2,200円（消費税含む）

納入金額：選考料+審査料=17,400円

6. 審査料

15,200円（全剣連分7,700円、東剣連分5,500円、手数料：板剣連2,000円）消費税含む。

※東京都剣道連盟の称号推薦審議会で不合格になった者には返金する。

7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の登録都道府県剣連に送付する。後日、全剣連月刊「剣窓」6月号および全剣連ホームページ（<http://www.kendo.or.jp/>）に合格者の氏名を掲載する。

8. 個人情報保護法への対応

（以下を申込者に周知して下さい。）

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

剣道教士称号審査会要項

1. 受審資格

錬士七段受有者で、七段受有後2年以上を経過（令和元年5月31日以前に取得）した者。

※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第21条2項の資格を有する者。なお、講習会の有効期間3年は、平成30年2月以降とする。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会および大会が中止になったため、指導者講習会は1回以上とする。

※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦委員会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。

※年齢基準は、審査当日の令和3年5月3日とする。

2. 申込方法

受審希望者は、所定の教士受審申請書と小論文（自筆、パソコン不可、顔写真貼付）に講習手帳を添え所属団体へ申込むこと。

所属団体は、受審希望者の受審申請書と小論文および講習手帳を取りまとめて、2月23日（火）までに板橋区剣道連盟に申込むこと。なお、受審申請書は必要に応じてコピーすること。

【申込先】 板橋区剣道連盟 事務局

〒174-0053 板橋区清水町21-3 平松方 TEL 3962-9814

【振込口座】：三井住友銀行 志村支店 普通 7023070 板橋区剣道連盟 代表平松忠男

3. 小論文

(1)課題 「剣道指導者としてのあり方」

(2)字数 800字以上1,200字以内

(3)用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）。用紙1～3行目に表題と登録都道府県名である東京都と氏名を記し、4行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。原稿用紙は右上をホチキスで止めること。

(4)提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道称号教士受審」を、裏に登録都道府県である東京都と自分の氏名を表記のうえ封印すること。

4. 審査の方法

この度、新型コロナウイルス感染症拡大防止や被害の減少に協力するため、試験会場での称号教士筆記試験を中止し、上記のとおり課題に対する小論文退出の形式で実施し、小論文を採点のうえ審査会に付議して可否を決定する。

5. 選考料

1人 2,200円（消費税含む）

納入金額：選考料+審査料=20,700円

6. 審査料

18,500円（全剣連分11,000円、東剣連分5,500円、手数料：板剣連2,000円）消費税含む。

※東京都剣道連盟の称号推薦委員会で不合格になった者には返金する。

7. 合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の都道府県剣道連盟に送付する。後日、全剣連月刊「剣窓」6月号および全剣連ホームページ（<http://www.kendo.or.jp/>）に合格者の氏名を掲載する。

8. 個人情報保護法への対応（以下を申込者に周知して下さい。）

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および一般財団法人東京都剣道連盟が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。